

2018年8月4日（土）～5日（日）

東エコクラブ「チロル学園親子宿泊自然観察会」その1

夏の恒例行事になりつつある東エコクラブのチロル学園親子宿泊自然観察会も今年で3回目を迎えました。今回もたくさんの自然体験をしてきました。写真とともに活動の様子をご覧ください。

【新倉の逆断層露頭見学】

新潟県糸魚川市から長野県諏訪市、山梨県早川町を経て静岡県に達する大断層で、新しい地層が古い地層の上にのし上がっている様子が見られる場所です。指導員の方の丁寧な説明とともに、日本の大陸が今の中国・ユーラシア大陸にくっついていた頃からの変動により起こる現象とのことで、そのスケールの大きさに感動しました。ただし、国の天然記念物に指定されていますので、中に入ることも石一つ持ち帰ることも禁止されています。



途中の湧水は、取水する場所は違いますが、天然水として有名な南アルプスの飲料水と同じ水が出ているとのことで、冷たく美味しい水を味わいました。



【南アルプス生態邑 野鳥公園】

お世話になる野鳥公園に着きました。野鳥公園という名前がついていますが、ここは自然観察・自然体験の宝庫です。大きな吊り橋を渡っていきますが、それなりに揺れますので、子ども達よりお母さん達の方がおびえていました。



【お弁当タイム】

今回は全員、近くのお弁当屋さんでお弁当を用意しました。安くてとても美味しいお弁当でした。エコクラブらしく自然の中で美味しいお弁当を食べよう！と促したのですが、さすがにこの暑さ。ほとんどの親子は用意していただいたエアコンのある部屋で食べていました。



【水遊び体験】

今日のメインの活動です。ライフガードとヘルメットを付けて、南アルプスの冷たい水で子ども達もお父さん、お母さんもその有りがたさを身に染みて体験しました。

そして、ただ水で遊ぶだけでなく、エコクラブらしく、そこに生きる生物を発見し、種類別に分けて観察したり、午前中に学んだ古い地層から出た石と新しい地層から出た石の違いを観察したりしました。

